

# 工事完了に伴う事前通行規制解除のための現地確認 (大分県玖珠郡九重町野上、日田市)

大分県玖珠郡九重町野上において、令和2年7月豪雨により、国道210号及び高速道路(大分道)に斜面の土砂崩れが発生。

法面の災害復旧工事が完了したことから、雨量による事前通行規制解除のため、TEC-Doctorを派遣し対策工確認を行い、助言等を頂いた。

出席者: 大分大学 鶴成教授、

大分河川国道事務所、日田国道維持出張所、防災点検診断業者、災害復旧工事業者

## ● TEC-Doctorによる現地確認(令和4年4月26日、9月19日、11月30日)



### 【現地確認の意見】

対策工の進捗状況と地元から要望を考えた結果、下記指摘事項を実施することで当該地区の事前通行規制解除は可能と考える。

1. 当該地区は潜在的に斜面崩壊の危険性を有する。理由は、風化速度の速い地質に覆われているため、切土のり面勾配が風化進捗に伴い安定勾配ではなくなっている。

崩壊箇所以外も同様のリスクを残している箇所が多いため、大雨時等については巡回時に濁水が発生していないかなど留意が必要。

規制解除後および工事完了後は、気象台の降雨予測等で災害発生するような豪雨等が懸念される場合は、道路管理者の判断において適宜通行止め等の処置を講じることも検討する。

2. 現地に設置している雨量計は、工事終了後も計測を続ける必要がある

(テレメータ(水分峠)が当該箇所より離れているため)